

人文的 昆虫 展覧会

THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM
北海道大学総合博物館

150th
HOKKAIDO UNIVERSITY

Humanistic
Insect
Exhibition

たどり着いたらメーリアン!
～蝶と博物書を追求めた半世紀～

北海道大学総合博物館夏季企画展示

会期

2025年

6/28^土 8/31^日

開館時間 10:00-17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休館)

会場

北海道大学
総合博物館

1階 企画展示室

入場無料

講演会開催 >>詳しくは裏面をご覧ください>>

主催
北海道大学総合博物館
〒060-0810
札幌市北区北10条西8丁目(北海道大学キャンパス内)
TEL 011-706-2658 <http://www.museum.hokudai.ac.jp>
後援
日本アンリ・ファブル会
北海道大学創基150周年記念事業
*北海道大学は2026年に創基150周年を迎えます

人文的 昆虫 展覧会

Humanistic
Insect
Exhibition



昆虫は、私たちに最も身近な生物の一つです。

昆虫展と言えば、昆虫の多様性や奇妙奇天烈な標本などを紹介した、

昆虫学、生物学から派生した展示がほとんどでした。

「人文的昆虫展覧会」は、昆虫を題材とした、

文学、絵画、神話、ことわざなどと、昆虫それ自体、そしてその人物との関係を紹介する展示です。

本展示では、「ヘルマン・ヘッセ ～少年の日の思い出～」「メーリアンの立体昆虫図譜」

「神話と星座と虫の名と」「北大昆虫学者と著書」の4部で構成されます。

展示を製作した新部公亮氏（マロニエ昆虫館）は、

2017年から「人文的昆虫展」を全国で精力的に開催されています。

図書館での展示開催も多く、博物館・図書館連携の好例としても評価されています。

ヘルマン・ヘッセ ～少年の日の思い出～

ノーベル賞作家のヘルマン・ヘッセは、神々の美しき創造物であるチョウ類を生涯にわたって愛し続け、きらめきながら消えゆく生命の神秘を謳いあげた詩歌・散文作品の数々を残しました。…ヘッセの直筆の水彩画など、奥深く重厚な資料を用い、世界的文人の「自然美」への畏敬と感性とを具体的に展示します。（大阪自然史博物館パンフレット抜粋）

神話と星座と虫の名と

神話の中の神々の名は、星座の名称になり、動物・植物の学名としても活用されている。夜空に輝く星々に悲恋物語や英雄伝説を描かせれば、より一層星座や星々は光り輝く。…昆虫や植物の学名に存在する神々の名前を調べるたびに、私の思いは夜空へと舞い上がる。（本展示監修：奥本大三郎・岡田朝雄）

メーリアンの立体昆虫図譜

マリーア・ズィビラ・メーリアンが1705年に著した『スリナム産昆虫変態図譜』は、今から300年以上も前に発行された昆虫の生態図譜である。その比類なき超絶技法と大胆な構図は、まさに時代を飛び越えた傑作であり、18世紀初頭に存在するのが不思議なほどの、いわば”オーバーツ”のような芸術作品だ。（本展示監修：白石雄治）

北大昆虫学者と著書

札幌農学校から綿々と続く北大の昆虫学分野は、現在も多くの研究者を輩出しています。昆虫学に関わる教科書のみならず、エッセイや一般向け著書を著した研究者も多くいます。農学部昆虫学教室初代教授松村松年、昆虫学から考古学・アイヌ研究へ転向した河野廣道、蜂学の常木勝次、坂上昭一など著名な昆虫学者を著作と合わせて紹介します。

講演会 | 会場 | 知の交流ホール

6月28日

昆虫少年ヘッセの真実

佐藤 亜希子（北海道大学総合博物館ボランティア）
新部 公亮（北海道昆虫同好会会員）

7月12日

神話と星座と虫の名と

鮎沢 玲子（占星術家）
新部 公亮（日本アンリ・ファーブル会会員）

8月30日

たどり着いたらメーリアン！ ～蝶と博物書を追い求めた半世紀～

白石 雄治（とちぎ昆虫愛好会）
新部 公亮（とちぎ昆虫愛好会）

